Eco & Peace Navigator

エコ&ピースナビゲーター

食材のお届けだけじゃない!
パルシステム東京の
社会活動をご紹介。

〈平和編〉

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

第1回「ジャパンSDGsアワード」受賞

発行日：2021年6月28日
発行：パルシステム東京 政策推進本部

2021年 7月号 Vol.29

夏休み 親子で学ぶ SDGs

今世紀最悪の人道危機
シリア危機から10年

▲難民世帯を一軒ずつ訪ねて回るAAR現地スタッフ（2019年6月）

◀トルコに暮らすシリア難民の子どもたち。さまざまな事情を抱える中、一人ひとりに寄り添った支援を行っています

～難民支援の現場から～

シリア難民は、世界各国で約660万人にまで増加しており、世界の難民流出国の中で最も多い人数です。その数は現在もなお増え続けており、多くの人道的支援を必要としています。

トルコのシリア難民支援に従事する国際NGO、AAR Japan［難民を助ける会］にシリア難民の置かれた厳しい現状についてお話を聞きました。

2 011年3月にシリア紛争が勃発してから10年。情勢が安定する見通しは未だ立っておりません。

AAR Japan
Association for Aid and Relief, Japan
認定NPO法人 難民を助ける会

3 60万人（推定）のトルコに逃れたシリア難民の大多数は、街中で暮らしています。アラビア語を母国語とするシリア人の多くは、「行政から支援を得るための登録手続きが分からない」「病院で言葉が通じない」など、日々の生活に困難を抱えています。「どこかに相談窓口がある」ことさえ知り得ない場合が大半で、AARは難民の家庭を一軒一軒訪問して、個々のニーズに合った支援を実施しています。例えば、脊髄の病気で下半身がマヒし、寝たきりの生活を送っていたサーラさんには、補助具や理学療法士によるリハビリを提供しました。彼女はその後、自ら立って歩けるようになり、「公園や買い物にも行けるようになった」と笑顔を見せてくれました。ほかにも、適切な支援を受けられる情報の提供や生計・就学・就労支援、コミュニティ支援を行ってきました。

1 日一日をなんとか生き抜いている状態で、不安は尽きません。トルコ政府の施策により、難民を取り巻く環境が少しずつ安定してきたことは確かです。しかし、国の方針変更や資金の減少などにより、支援を受けられなくなる日がいつか訪れます。そのとき、シリア難民の方々が支援に頼らずとも地域で支え合って生きていけるように、私たちは活動を続けて参ります。

▲起立保持具を装着して立つサーラさんと理学療法士の資格を持つAARスタッフ(2017年9月)

あなたの200円を世界の子どもたちへ

1人ひとりの力は小さくても無力ではありません。私たちには“たすけあう心”があります。あなたの支援を世界の子どもたちへ。
商品の注文といっしょにできる「平和カンパ」にご協力ください。詳しくは今週配布チラシを参照。

受付期間 7/5(月)～8/6(金)

▶7つの全てのプロジェクトへ

現金200円	101613
200ポイント	193640

▶AAR Japan［難民を助ける会］
トルコ シリア難民支援
(紛争で故郷を追われた子どもたちへ)

現金200円	101664
200ポイント	193623

オンライン学習会 出口の見えない難民問題の今

パレスチナとイスラエルの紛争やミャンマーのクーデターなどにより、市民の日常が奪われ、家にも帰れずに行き場を失った人々が今も後を絶ちません。難民が抱えるさまざまな問題を正しく理解し、私たちに何ができるかを学びます。

▲シリア・アレッポの少年たち
© UNHCR/Antwan Chnkdji

■日　時：7月23日(金・祝)　15時00分～16時30分(90分)
■会　場：ご自宅(Zoomを使用したオンライン開催)
■ファシリテーター：天沼 耕平 氏(国連UNHCR協会)
■パネリスト：中村 哲也 氏(パレスチナ子どものキャンペーン)
　菊池 礼乃 氏(シャンティ国際ボランティア会)
■参加費：無料
■定　員：300名
■申込締切：7月23日(金・祝) 15時00分
※定員300名に達した時点で受付終了
■問合せ先：政策推進課
■Eメール：paltokyo-seisaku@pal.or.jp
※申込方法は二次元コードおよびパルシステム東京ホームページより、参加登録を案内します。

国連UNHCR協会 天沼 耕平 氏

パレスチナ子どものキャンペーン 中村 哲也 氏

シャンティ国際ボランティア会 菊池 礼乃 氏

詳しくはこちら

裏面もご覧ください!

エコ&ピース ナビゲーター
2021年 7月号 Vol.29

〈平和編〉

都内でふらっと平和を学べるスポット

◀展示館内の第五福竜丸

▲館内での工作教室の様子

東京都立第五福竜丸展示館

1954年3月1日に、マーシャル諸島のビキニ環礁でアメリカの水爆実験により被災したマグロ漁船「第五福竜丸」の実物を保存・資料を展示しています。

展示館前ひろばには、パルシステム東京も引き上げに協力した福竜丸のエンジンがあります。

■所在地：東京都江東区夢の島2丁目1−1 夢の島公園内
最寄り駅は「新木場駅」下車 徒歩約10分
■電話：03-3521-8494
■ホームページ：http://d5f.org/
オンライン企画はこちらをご覧ください
■開館時間：9時30分〜16時 / 月曜休館
※月曜祝日のときは開館し火曜休館
■入館料：無料

詳しくはこちら

都立第五福竜丸展示館では、高さ15メートル、全長30メートルの大きな木造船を間近に見上げながら、これまでの核兵器開発の歴史と私たちの未来について考えることのできる博物館施設です。

希望する方にはボランティアガイドによる展示解説を行っています。ほかにも「牛乳パックでつくる第五福竜丸教室」や親子向けコンサートなど家族で学べるイベントも企画しています。オンラインでもさまざまな取り組みを進めています。

東京大空襲・戦災資料センター

1945年3月10日東京下町大空襲の資料を展示、2020年6月にリニューアルオープンしました。

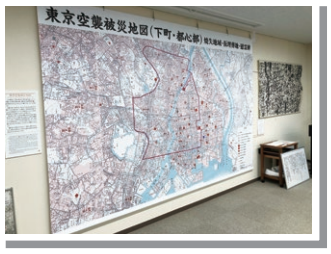
現在、来館は原則予約制です。下町戦跡フィールドワークや空襲体験者のお話の予約を受け付けています。（謝礼等、くわしくはセンターにお問い合わせください）

■所在地：東京都江東区北砂1丁目5−4
最寄り駅は「住吉駅」および「西大島駅」下車 徒歩約20分
バス利用はこちらをご覧ください
■電話：03-5857-5631
■ホームページ：https://tokyo-sensai.net
■開館時間：10時30分〜16時 / 月曜休館
※月曜祝日のときは開館し火曜休館
■入館料：一般300円、中・高校生200円、小学生100円、未就学児・障がい者無料

詳しくはこちら

▲東京大空襲・戦災資料センター

戦争体験者がいなくなる時代を見据え、現代の来館者にもわかりやすい展示を目指しています。東京空襲被災地図、焼夷弾の模型などの展示品を刷新し、いくつかの展示に二次元コードを付け詳しい情報が見られるようにしました。体験画と体験記を組み合わせた展示コーナーの「夜の体験」、ご遺族の承諾を得て1家族につき1枚のパネルで犠牲者の名前を公開する「名前と顔写真の壁」も新設しました。



▲被災地図

▲焼夷弾

教えて こんせんくん！ 都内の戦跡 東京ドームと小石川後楽園

東京ドームや小石川後楽園は、戦前まで陸軍兵器の工場だったことは知っているかな。戦争で空襲にあい、多くの爪痕が残っているんだよ。それから、プロ野球の未来に永遠の夢をたくし、戦争で亡くなった選手の霊を慰めるために有志で建てた「鎮魂の碑」があるんだよ。近くに行ったときは、立ち寄ってみてね。

▲東京ドームの横にある戦没者慰霊碑前で（地域で活動する委員会企画の様子）